

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援ひだまりっこピーチ					公表日	R8年 4月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員に見合うスペースを取っています 食事スペース、訓練活動スペースと分け、利用者様に分かりやすい配置にしています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		厚労省令で定める基準を下回らない範囲で配置しています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		幼児トイレ洗面台など分かりやすい配置、又安全に配慮しています 障がい種別を問わない受け入れ可能な設備となっています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日活動前活動後には、清掃消毒を行い年数回大掃除と安全点検も行っていきます		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	現在の間取りでは個別の部屋はとれていません	必要に応じて利用者が気持ち落ち着かせられるように工夫します	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		振り返り及び目標・設定・到達について話し合い業務改善に努めています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からいただいたご意見をもとに、職員間で情報共有し改善に努めています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月末のスタッフミーティングにて、振り返り及び目標・設定・到達について話し合い業務改善に努めています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		支援や環境改善に努めています		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		個人的に研鑽を積んだり、又それを共有することに努めました 感染症対策虐待防止などの研修会を職員間で共有しました 公表しました		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様ときちんと話をして課題を分析して支援計画を作成しています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングで個々の課題やニーズを話し合い支援計画を作成しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティングで個々の課題やニーズを話し合っています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		乳児期幼児期の利用者様の行動を色々な観点から確認しています		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者様の希望やアセスメント内容を踏まえてガイドラインに基づく支援内容を設定し児童発達支援計画を作成し、具体的な支援につなげています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間活動や月間活動をスタッフ内で話し合い立案し実行しています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様の個々のニーズや特性に沿いながら、活動プログラムを立案し実行しています		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		活動プログラムや状況に応じて、集団と個別を組み合わせた支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の支援開始前には打ち合わせをし、支援の内容や役割分担等確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日職員間で振り返り情報を共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		本日の様子の記録報告を保護者様にお伝えするとともに記録を保存して支援の検証ができるようにしています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		各自の成長に合わせて支援計画の見直しを行っています 相談支援員と連携して支援内容の共通認識を図り、方向性を確認しています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事業所を代表し児童発達支援管理責任者が出席しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携した支援を行っています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		連携した支援を行っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		該当者がいませんでした	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターと連携を図り事業所運営のために助言を受けています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		ひだまりっこビーチには該当しませんでした	保育所や幼稚園との交流はもう少し年齢が高くなると難しいと考え、公園に行ったり買い物に行ったりして地域交流に努めます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用者様の当日の様子や状況を的確にお伝えするように努めています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		2ヶ月に1度家族支援を目的に保護者交流を行っています		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や保護者会等でご説明やご案内に努めています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画を作成する際には意思を尊重し、移行を確認する機会を設けています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援ガイドラインに基づく内容を児童発達支援計画に明記し保護者様の同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別面談以外の時にも保護者様の相談に応じています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		2ヶ月に1度家族支援を目的に保護者交流を行い関係を築く機会を作っています	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		送迎時に気軽にお声を掛けていただけるような環境づくりを心がけています 相談支援員と連携し必要な支援へとつなげています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所内では通信アプリを使用して月に1度保護者様に活動の様子を発信しています HPでブログで発信し情報公開しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		アプリを通して保護者様と写真等を公開するときは、個人情報に繋がるものには十分に配慮しています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		誤解なくコミュニケーションがとれるように、丁寧な説明、言葉の使い方等に配慮しています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年に1度法人で主催する『笑福祭』やピアノコンサートでは利用者様や地域住民の方々を招待し事業運営を開示しています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		災害時、事故、感染症等、各種マニュアルを作成し、定期的な訓練や勉強会を実施しています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人全体でBCP計画を作成し、定期的に講習会や訓練を行っています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時にアセスメントを実施し利用者様の状況を確認しています 変更内容に関しても随時確認しています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無は職員間で共有し対応に努めています 指示書に関しては該当する方はいませんでした	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年に数回安全計画を見直し、安全に支援ができる環境と人員配置 利用者様に目を配ること等を心がけています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者様に活動内容をお話する際には、安全確保や留意点等を含め説明しています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティングの際にヒヤリハット報告を共有し、再発防止に努めています	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人では毎月虐待防止権利擁護委員会が開かれ防止策が話し合われます 事業所内においても年に2回虐待防止研修を行っています		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		安全のための身体拘束に関しては法人内で組織的に話し合われています		